

2024年度

# 令和6年度 事業計画

社会福祉法人めぐみ学園

日の出保育園

# Ⅰ 経営方針

## Ⅰ 日の出保育園の保育理念

豊かな可能性を内に秘めた子ども一人一人の人格を尊重し、それぞれのよさを認め、引き出し、伸ばすとともに、他を思いやる心やコミュニケーション力を育て、これからの社会をたくましく生き抜く基礎を培う。

## 2 保育方針

一生に一度のこの時期を日の出保育園で過ごせて良かったと語り継がれる保育園でありたい。そのため、保護者と保育者が一体となり、「安全・安心」と「安定」をキーワードに、最善の保育環境を整え、子どもにとって保育園が心の居場所となるようきめ細かな経営の充実に努めたい。

### ○日の出の安全・安心・安定

保護者にとってあずけて安心、子どもにとって安らぎの気持ちで安心して園生活ができるよう、不断のふり返りを通して、常に最善の保育環境をつくり出す努力を続ける保育園であること

### ○寄り添う日の出の保育士

保護者と保育者が共同歩調で、園児一人一人の成長を促すことのできる保育園であること

園児に寄り添う	認めるほめる	安全安心な居場所づくり	小さな一歩を見逃さない
---------	--------	-------------	-------------

保護者に寄り添う	明るく笑顔で伝える	こちらから話しかける	相手の立場で聞く
----------	-----------	------------	----------

### ○めざす姿 『笑顔いっぱい、元気いっぱい、友だちいっぱい』の保育園

(別紙 日の出の保育全体図)

## 3 運営の基本

### 【保育】

- (1) 日々の実践を不断に見直し、保育の質の充実を図る。〔保育指針〕
- (2) 心と身体の健やかな成長を支え、基本的な生活習慣の定着を図る。〔基本的生活習慣〕
- (3) 一人一人が認められ、大切にされる言葉がけで臨む。〔個性の伸長〕

### 【組織・運営】

- (4) 保護者の願いや期待に応える受容的、共感的な子育て支援を進める。〔保護者支援〕
- (5) 保育実践と分掌業務への振り返りを習慣化し、不断の見直しを図る。〔当事者意識〕
- (6) 短いスパンの改善と内外評価を活かすことのできる組織運営をめざす。〔進行改善〕

# 2 令和6年度の重点

## Ⅰ 重点策定にあたって

加速する少子高齢社会、未曾有の自然災害や地球規模の環境問題など、これまでの経験や知識で

は解決できない問題が山積みの時代を迎えています。社会の変容と多様化する保育ニーズに対応するためには、保育実践と園務運営を不断に見直し、変えるべきは、時を待たずしてあらためられる保育園でなければならないと考えます。

## 2 重点目標

元気いっぱい・笑顔いっぱい・友達いっぱいの保育園の実現には子どもだけでなく、私たちが活き活きと協働する保育園でなければなりません。年度の重点目標を次の通りとします。

### 年度の重点

一人一人が大切にされ伸びることのできる保育園

## 3 重点達成のための3つの柱

### 達成への柱 1

互いに学び合い自ら変わることができる

年度末評価から、組織(仕組みや配置)面の硬直化や固定化の問題、仕事の進め方(やり方)に前例踏襲や偏りの面があったことを反省する必要があります。この課題を解決するために、まず、分掌の内容と配置を抜本的に改革します。子どもたちの変容成長を促すためには、自らも変わることをいとわない柔軟性のある組織づくり。互いを尊重し学び合いながら業務を進めていく協働体制の確立に努めます。

### 達成への柱 2

短いスパンで見直し進行改善を図る

これまでも子どもや保護者に寄りそう姿勢を重視し、保護者からも信頼を寄せられてきました。しかし、基調に記したように社会の変化や保護者ニーズが多様化するさまは、まさに現在進行形と言えます。

自己チェックのように複数回の園務評価など、これまでのPDCAサイクルから、短いスパンで不断に見直すのが当たり前でできる保育園をめざします。

### 達成への柱 3

外にも内にも開きながら保育をふり返る

本園では、外部講師による仲よし保育などの制作・体験的な活動、お散歩などの園外活動を積極的に取り入れています。これらの活動は、子どもたちの可能性を見出すとともに、地域や外部の目を通した評価の機会となります。子どもたちの変容とあわせ、外部の見方を取り入れたふり返り資料として活用できるようにしたいものです。

外からの風を入れるとともに、職員間の意思疎通や共通理解に努め、内にも開かれた組織に変えていくため、今ある仕組みを活用・改善しながら、外と内に開かれた保育園づくりを進めます。

### 3 令和6年度の事業予定

#### 1 園行事と諸会議の予定

月	日	曜	行 事 等	月	日	曜	諸 会 議 関 係
4	1	月	令和6年度第54回進級・入園式				
	9	火	身長・体重測定 内科検診 歯科検診				
	17	水	4月誕生会				
	26	金	こどもの日お楽しみ会				
5	7	火	運動能力測定(以上児)～10日	5	16	木	令和5年度第4回監査会
	15	水	5月誕生会		23	木	令和6年度第1回理事会
6	6	木	遠足	6	6	木	令和6年度定時評議員会
	12	水	6月誕生会				
	28	金	運動会				
7	17	水	7月誕生会				
	19	金	バス遠足(ぶどう)				
8	1	木	おまつりごっこ	8	15	木	第1回監査会
	7	水	七夕		22	木	第2回理事会
	21	水	8月誕生会				
9	2	月	防災の日 避難所避難訓練				
	18	水	9月誕生会				
10	1	火	個人懇談(10/10～13、10/16～20)				
	8	火	身体測定 内科検診 歯科検診				
	15	金	生活発表会				
	16	水	10月誕生会				
11	15	水	生活発表会				
	27		11月誕生会				
12	4	金	もちつき	12	12	木	第2回監査会
	18	木	12月誕生会		19	木	第3回理事会
	24	水	クリスマス会				
1	6	土	保育開始				
	15	木	雪中運動会				
	22	水	1月誕生会				
2	3	金	節分				
	19	水	2月誕生会 交通安全指導(ぶどう)				
3	3	金	ひなまつり	3	13	木	第3回監査会
	5	水	買い物ごっこ		19	水	第4回理事会
	19	水	3月誕生会				
	22	土	令和6年度第54回卒園式				
4	1	火	令和7年度第55回進級・入園式				
				5	15	木	令和6年度第4回監査会
					22	木	令和7年度第1回理事会
				6	5	木	令和7年度定時評議員会

## 2 「なかよし ほいく」

なかよしほいく	対 象	実施回数等
もじや かずと なかよくなるう	れもん・ぶどう組	年間 15~20 回程度
たいいくと なかよくなるう	以上児	月 1 回
えいごと なかよくなるう	れもん・ぶどう組	月 2 回 (れもん・ぶどう組各 1 回)
ボールと なかよくなるう	ぶどう組	月 1 回
クッキングと なかよくなるう	いちご組以上	年数回
ほんと なかよくなるう	全クラス	随時
うたや りずむと なかよくなるう	全クラス	随時

## 3 園児数

令和 6 年 4 月 1 日現在

区分	クラス名	在 籍 数		合 計	移園児等内数	参 考 昨年度末
		男 子	女 子			
0 歳児	さくらんぼ	4	1	5	新 5	8
1 歳児	もも	9	10	19	新 11	17
2 歳児	いちご	10	8	18	新 1	18
3 歳児	りんご	9	9	18	新 1	19
4 歳児	れもん	7	11	18	新 0	20
5 歳児	ぶどう	8	12	20	新 0	20
合 計		47	5	98	新 18	102

## 4 職員体制

令和 6 年 5 月 現在

職 名	人 数	正職員	嘱 託	臨 時	パート
園 長	1		1		
保育士(補助)	18+1	8		2	8+1
栄 養 士	1	1			
会計・庶務	1				1
調 理 員	4			1	3
用 務 員	2				2
合 計	28	9	1	3	14+1

# 日の出保育園 経営方針

## 1 保育理念

豊かな可能性を内に秘めた子ども一人一人の人格を尊重し、それぞれの良さを認め、引き出し、伸ばすとともに、他を思いやる心やコミュニケーション力を育て、これからの社会をたくましく生き抜く基礎を培う。

## 2 保育方針

一生に一度のこの時期を日の出保育園で過ごせて良かったと語り継がれる保育園でありたい。そのため、保護者と保育者が一体となり、「安全・安心」と「安定」をキーワードに、最善の保育環境を整え、子どもにとって保育園が心の居場所となるようきめ細かな経営の充実に努めたい。

○ “安全・安心”とは、

保護者にとってあずけて安心、子どもにとって安らぎの気持ちで安心して園生活ができるよう、常に安全な保育環境を作り出す努力を続ける保育園であること

○ “安定”とは、

保育者の視線が、子どもに注がれ、常に、質の高い保育を提供できる保育園であること

## 3 めざす姿

○ 保育園 『笑顔いっぱい、元気いっぱい、友だちいっぱい』の保育園

○ 三つの姿とめあて→ **日の出スタイル** (別紙 保育の全体図)

## 4 運営の基本

### 【保育】

- (1) 「全体的な計画」を不断に見直し、保育の質の充実を図る。〔保育所保育指針〕  
保育指針に則り、保育の質の充実を図り、保育目標を具体化する。
- (2) 豊かな経験と「あそび」を支援し、子どもの育ちを保証する。〔育ちの姿〕  
豊かな経験の機会を通して、「あそび」を支援し、子どもの育ちを保証する。
- (3) 心と体の健やかな成長を支え、基本的生活習慣の定着を図る。〔基本的生活習慣〕  
心と体の健やかな成長を支え、基本的生活習慣の定着を図る。
- (4) 一人一人が認められ、大切にされる言葉がけで臨む。〔個性の伸長〕  
一人一人が認められ、大切にされる温かなクラス経営をすすめる。
- (5) 専門性向上を自覚し、質の高い保育実践を進める。〔専門性〕  
専門性の向上に努め、質の高い保育実践をすすめる。

### 【組織・運営】

- (6) 保護者の願いや期待に応える受容的、共感的な子育て支援を進める。〔保護者支援〕  
保護者の願いや期待を受け止め、子育て支援の充実を図る。

- (7) 情報発信を工夫して、家庭や学校、地域、関係機関との連携を図る。〔連携・共生〕  
情報発信を通して、家庭や地域、学校をはじめ関係機関との連携を図る。
- (8) “振り返り”を習慣化し、常に保育所保育の改善・充実を図る。〔振り返り〕  
自己評価等を通し、計画的に保育の改善を図る。
- (9) 法令等を順守し、福祉サービスの責任を全うする。〔危機管理〕  
社会福祉法人として法令等を順守し、福祉サービスの責任を全うする。
- (10) 社会人としての自覚を持ち、最初から最後までチームで課題解決に当たる。〔職場づくり〕  
新しい挑戦を受けとめ、やりがいを共有できる職場づくりを進める。

## 5 重点となる推進事項

### 【保育】

〔保育所保育指針〕 「全体的な計画」を不断に見直し、保育の質の充実を図る。

- (1) 体験を通し多様で変化のある学びを工夫する。
- (2) 日々の「あそび」を振り返る。
- (3) 「全体的な計画」を理解し、実践と関連づける。

〔育ちの姿〕 豊かな経験と「あそび」を支援し、子どもの育ちを保証する。

- (1) 子どもの主体的な「あそび」を保証する。
- (2) 個人の記録、作品、写真など、育ちの姿を見える化する。
- (3) 多様な機会、人材を活用し、「本物」に触れる。

〔基本的生活習慣〕 心と体の健やかな成長を支え、基本的生活習慣の定着を図る。

- (1) 粘り強く、きめ細かく、「待ち」の姿勢で支援する。
- (2) 保育士自身が子ども一人一人の育ちの違いを自覚する。
- (3) 特別な配慮を要する子どもを理解し、全職員が共通した支援体制で取り組む。

〔個性の伸長〕 一人一人が認められ、大切にされる言葉がけで臨む。

- (1) 子どもの育ちに合わせ「日の出スタンダード(例：挨拶、返事、聞く姿勢など)」に取り組む。
- (2) 子どもの心に寄り添う望ましい言葉がけを工夫する。
- (3) チーム保育を自覚し、子どもを多面的に支援する。

〔専門性〕 専門性向上を自覚し、質の高い保育実践を進める。

- (1) 園外研修を通し、ステップアップ・スキルアップ・キャリアアップにつなげる。
- (2) 緊要な課題解決や日常の実践につながる園内研修の推進に努める。
- (3) 主体的・能動的な研修の推進に努める。
- (4) 自己目標を振り返り、自己研鑽し、日常実践に意識を集中する。

### 【組織・運営】

〔保護者支援〕 保護者の願いや期待に応える受容的、共感的な子育て支援を進める。

- (1) 送迎時の声かけ、便り、ボード、連絡帳など、情報共有による信頼関係づくりをする。
- (2) 保護者の声に耳を傾け、保育所保育の改善に生かす。
- (3) 内容の軽重を問わず、親身に、迅速に、組織として応える。

〔連携・共生〕 情報発信を工夫して、家庭や学校、地域、関係機関との連携を図る。

- (1) 学校訪問や教員との情報交換など、小学校との連携の形を継承し、円滑な接続に生かす。
- (2) HPや便り、行事の公開や職業体験受入れなど、地域における公益的な役割を果たす。
- (3) 関係機関等の専門性を活用し、緊密な連携の下、諸課題の解決につなげる。

〔振り返り〕 振り返りを習慣化し、常に保育所保育の改善を図る。

- (1) 振り返りは、〔評価(check)－改善(action)－計画(plan)－実施(do)〕を基本とする。
- (2) 運営評価から課題を整理し、目に見える改善策に取り組む。
- (3) 評価結果や改善点等を公表し、満足度の高い保育園を実現する。

〔危機管理〕 法令等を順守し、福祉サービスの責任を全うする。

- (1) 一人一人の「ヒヤリハット」を共有し、日常の安全管理を徹底する。
- (2) 子どもの命を最優先に、感染症、防災、アレルギーなど最新情報に基づく運営を進める。
- (3) 会計、文書管理、個人情報保護など、公私にわたり社会福祉法人として関係法令を遵守する。

〔職場づくり〕 自覚ある社会人として、最初から最後まで全員で課題解決に当たる。

- (1) 諸会議、職員面談、日常的な情報交換などを通じて、双方向で“気付き”を伝えあう。
- (2) 「報告・連絡・相談」を徹底し、全職員で着実に課題解決を図る。
- (3) 個々の事情を尊重し合う一体感のある職場づくりを目指す。



## 令和6年度運営の重点作成にあたって

### 1 経営の基調

社会の変容と多様化する保育ニーズに対応するためには、保育実践と園務運営を不断に見直し、変えるべきは時を待たずしてあらためられる保育園でなければならない。

### 2 経営の重点

一人一人の可能性を認め、引き出し、伸ばしてあげるという日の出保育園の経営理念をあらためて胸に刻んで、まず、私たちが生き活きと協働する保育園でなければならない。

### 3 年度の重点

#### **年度の重点** (大人も子どもも)一人一人が大切にされ伸びることのできる保育園

年度末反省では、保育に関する評価では、これまでと比べても高い評価となりました。つまり、園児に寄りそう保育について、十分に評価できるということです。一方で、組織運営(働きがい・意見尊重)に関しては、厳しい評価でした。保育だけでなく、保育園全体に一人一人が大切にされる風土や文化が感じられ、年度の重点を達成するために、次の3つの柱を設定します。

### 4 3つの柱

#### **①《互いに学び合い自ら変わる》**

子どもたちの変容成長を促すためには、自らも変わることをいとわない柔軟性のある組織づくり。互いを尊重し学び合いながら業務を進めていく協働体制の確立。

- ①前例踏襲や偏りを反省、分掌の内容と配置を抜本的に改革。
- ②研修やミーティングの内容も見直したい。⑨
- ③周りの考えや社会の変化を真摯に受けとめる。(保護者、幼小中、地域…)⑦

**②《短いスパンで見直し進行改善する》**。社会の変化や保護者ニーズが多様化するさまは、スピードがあり予測が難しい、まさに現在進行形と言える。

- ④自己チェックのように複数回の園務評価の実施など、短いスパンでの評価に変えていく。
- ⑤4期反省の実効性を高める課題の焦点化や月目標との連動など、無理無駄のないありかた。
- ⑥年度途中でも改善する進行改善。(月毎→点検チェック、四半期→反省、年度末評価)

**③《外にも内に関きながら振り返る》**。外部講師による制作・体験活動、お散歩などの園外活動を積極的に取り入れている。これらは、地域や外部の目を通した評価の機会です。

- ⑦地域や外部との連携に改善の余地。(つながる仕組みと伝える方法)
- ⑧日誌・お散歩計画にメモ(安全面も含め)し、進んで外部の風を入れた資料として活用。
- ⑨意思疎通や共通理解を図る月例会議の運営、意見が交流しやすいミーティングスタイルなど。

## II 事業予定

### I 事業予定

月	日	曜	行 事 等	月	日	曜	諸 会 議 関 係
4	1	土	令和5年度進級・入園式				
	12	水	身長・体重測定 内科検診 歯科検診				
	19	水	4月誕生会				
	26	水	子どもの日お楽しみ会				
5	8	月	運動能力測定(以上児)~12日	5	12	金	令和4年度第4回監査会
	17	水	5月誕生会		19	金	令和5年度第1回理事会
6	1	木	遠足	6	8	木	令和5年度定時評議員会
	22	木	遠足				
	28	水	6月誕生会				
7	12	水	7月誕生会				
	21	金	バス遠足(ぶどう)				
8	2	水	おまつりごっこ	8	17	木	第1回監査会
	7	月	七夕		24	木	第2回理事会
	23	水	8月誕生会				
9	1	金	防災の日 避難所避難訓練				
	7	木	運動会				
	20	水	9月誕生会				
	27	水	りんご狩り				
10	10	火	個人懇談(10/10~13、10/16~20)				
	11	水	身体測定 内科検診 歯科検診				
	25	水	10月誕生会				
11	15	水	11月誕生会				
12	1	金	生活発表会	12	14	木	第2回監査会
	7	木	もちつき		21	木	第3回理事会
	13	水	12月誕生会				
	25	月	クリスマス会				
1	6	土	保育開始				
	18	木	雪中運動会				
	24	水	1月誕生会				
2	2	金	節分				
	14	水	2月誕生会 交通安全指導(ぶどう)				
3	1	金	ひなまつり	3	14	木	第3回監査会
	7	木	買い物ごっこ		21	木	第4回理事会
	13	水	3月誕生会				
	14	木	卒園式総練習				
	23	土	令和5年度第53回卒園式				
4	1	月	令和6年度第54回進級・入園式				
				5	16	木	令和5年度第4回監査会
					23	木	令和6年度第1回理事会
				6	7	金	令和6年度定時評議員会

## 2 「なかよし ほいく」

なかよしほいく	対 象	実施回数等
もじや かずと なかよくなるろう	れもん・ぶどう組	年間 15~20 回程度
たいいくと なかよくなるろう	以上児	月 1 回
えいごと なかよくなるろう	れもん・ぶどう組	月 2 回 (れもん・ぶどう組各 1 回)
ボールと なかよくなるろう	ぶどう組	月 1 回
クッキングと なかよくなるろう	いちご組以上	年数回
ほんと なかよくなるろう	全クラス	随時
うたや りずむと なかよくなるろう	全クラス	随時

## 3 園児数

区分	クラス名	在 籍 数		合 計	移園児等内数	参 考 R4,3,8
		男 子	女 子			
0 歳児	さくらんぼ	4	2	6	新 6	7
1 歳児	もも	9	9	18	新 10	16
2 歳児	いちご	9	9	18		18
3 歳児	りんご	8	12	20	新 3	20
4 歳児	れもん	7	13	20	新 1	20
5 歳児	ぶどう	8	12	20	新 1	21
合 計		45	57	102	新 21	102

※ 令和5年 3月8日現在